

平成27年度事業報告書

特定非営利活動法人 ハニー・ビー

I 事業期間

平成27年4月1日～平成28年3月31日

II 事業の成果

2015年度、今年度は既存サービスの居宅介護、移動支援事業と放課後等デイサービスに加えて平成27年11月1日に指定を受けた就労移行支援事業も加え、障がいのある方々をご支援させていただくサービスの充実めざして活動してきました。

障がいのある子ども、ない子どもと分けることなく全ての子どもたちが、「将来、働きたい。」「地域で暮らし、生きていきたい。」と思えるような環境作りに力を注ぎました。各事業所ともサービスの提供はもとより、スタッフのスキルアップや働く環境整備の充実を図りました。

アピリコット介護サービスでは、「住み慣れた町で、自分らしい生活を営む上の必要なサポート」を心がけ、保護者の方にも寄り添いながら、提案をすることによって障がいのある方々へのスキルアップにも繋がったと思います。

マイ児童デイサービス（そね）では、1月に新しい児童発達支援管理責任者を迎える、放課後等デイサービス事業の拡充と指導員のスキルアップを図りました。「生活する上の基本動作の習得」を目標に掲げ、毎日繰り返して取り組むことでメリハリのある活動が出来たのではないかと思います。

マイ児童デイはっとりでは「あいさつをしよう」という目標を掲げて取り組み、更にコミュニケーション講座というプログラムを月1度開催することにより、「あいさつをする意味」「ビジネスマナー、コミュニケーション能力の向上」が図りました。曾根、はっとり事業所とも『預かり』ではない『将来に繋がる充実したサービス』の提供に力を注いでおり、保護者との面談の際にもほぼよい評価をいただくことができました。

昨今、障害児支援を取り巻く環境は大きく変わりつつあり、家族支援や医療的なケアが必要な障害児への支援も含め、障害児支援の在り方についてどう考えるのか。医療的ケアが必要な障害児や重症心身障害児をはじめ、障害児支援の質の向上をどのように図っていくかも議論されるようになりました。

特に放課後等デイサービス等の障害児通所支援については、真に発達支援を必要とする障害児のニーズに的確に対応するため、放課後児童クラブや日中一時支援事業との役割分担にも留意しつつ、質の向上と支援内容の適正化を図る観点から、制度面・運用面の見直しを検討する方向で進んできています。【放課後等デイサービスの現状：総費用額（平成26年度）は1,024億円で、障害児支援全体の59.7%を占める。総費用額、利用児童数、事業所数の全てにおいて、新制度が始まった平成24年4月以降、大幅な増加を続けている。】※出典：国保連データ

設立当初から提起しているミッション『障がいがあっても社会参加することはあたりまえ』『障がいがあっても支援があれば働く』と地域・学校・家庭との架け橋となるように、障がいのある方本人、またそのご家族だけでなく地域の方々に親しみを持っていただけるきっかけ作りとしての活動に取り組みました。

ハニー・ビーのそれぞれの事業所が連携しあうことで、障がいのある方々とそのご家族とも将来へと繋がる切れない支援をめざして活動をしました。法人としての目標は「地域の方々に、愛される法人」をめざし、様々な気づきに繋がる活動を開催しました。

7月には、障がいのある方への理解に繋がるようにと「第6回サポートが必要な子どもたちとの宿泊体験IN淡路島2015」を兵庫県淡路島じゃのひれリゾートで、10月には、でかい・しりあい・わかりあい=みつつのあいが大事だと考え、「第4回みんなでワイワイさんあいイベント」を豊中市のふれあい緑地の芝生広場で開催しました。2つの事業とも独立行政法人国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金の助成を受けて行ないました。

また一昨年度から引き続いてのサービス業での障がい者就労・職域開発事業と新たに地域介護人材就労促進事業を、豊中市より受託し、障がいのある方々の雇用を拡充しました。

III 事業の実施状況

1 特定非営利活動に係る事業

(1) 事業区分「障がい者（児）の自立・就労の意義」に関する講演会、勉強会、企業見学会

【事業名】 講演会事業

【事業内容】 大阪府立吹田支援学校の進路講演会の講師として、「障がいのある子どもの子育てと就労支援」というタイトルで、支援をする立場でまた親としての気持ちなどをお伝えしました。

【実施場所】 吹田市芳野町 大阪府立吹田支援学校多目的室

【実施日時】 ① 平成27年6月23日（火）

【事業の対象者】 ① 吹田支援学校保護者、教員など 50名

【収益】 0円

【費用】 0円

【活動報告】 今年度は、初めて吹田支援学校の進路指導部からのご依頼をいただき、保護者様、教員様50名に向けて「障がいのある子どもの子育てと就労支援」について、パワーポイントを使って講演をさせていただきました。この事業によって障がいがあっても、当たり前に社会に出るとの「意識変革」を促すこと、支援があれば将来働くことに繋がること、また放課後等ディサービスや地域連携の活動、宿泊体験などの各事業などにも、興味を持っていただけるよう、子ども達の様子などをお話させていただきました。

(2) 事業区分 療育支援事業

イ 【事業名】 就労支援プログラム(トレーニングジョブ=トレ・ジョブ)事業
【事業内容】 主に知的・発達障がいのある方々と就労体験ができるところをマッチングしてサポーターと共に地域での草の根的な支援者、事業者への理解を深める、当事者のための体験値を培う就労プログラムを実施しました。

【実施場所】 (学)育穂学園 熊野田幼稚園、くまのだ保育園

【実施日時】 通年随時

【事業の対象者・人数】 就労をめざす子どもたち 延べ 85 余名

【収益】 0円

【費用】 0円

【活動報告】 豊中市内の事業所を中心に 9 年前から始めて、少しずつですが、「親亡き後の障がいのある子どもたちの将来」をお考えになる保護者が増えてきたように思います。実際に体験を積み重ねる方々に力もついてきたようです。これからは参加者を増やせるように、保護者への支援を充実し『危ない』『心配』のマイナスイメージの払拭に務めたいと思います。

実習先でのお話：いつも同じようには行きませんが、「仕事に対する意識」は違ってきたように思います。また仕事の手順も繰り返して行なうことで、手順を覚え徐々にスムーズに行なえるようになってきたと思います。小さな成長が、わたし達も嬉しいです。

□ 【事業名】宿泊体験事業

【事業内容】 独立行政法人国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金の補助を受けて、『第6回障がいのある子ども達との宿泊体験』事業を【豊中市・豊中市教育委員会の後援】で開催しました。サポートが必要な小学4年生から18歳までの25名が、保護者と離れて様々な体験をする中でルールやマナーを学び、仲間との連携、達成感などの体験値を高めるための宿泊体験事業を行いました。自然の中での体験を通じ、グループで活動する中でのチームワークの大切さを学びました。また、サポーター（ボランティア）の障がいのある方々への理解や意識も、知り合うことによって変わっていくことに繋がることを実感しました。

【実施場所】 兵庫県南あわじ市 じゃのひれコテージなど

【実施日時】 平成27年7月25日（土）～26日（日）

【事業の対象者】 チャレンジャー・サポーター合わせて 53名

【収益】 1,265,000円（うち補助金 840,000円含む）

【費用】 1,630,660円

【活動報告】 無事、事故無く終了しました。サポートが必要な子どもたち、また保護者にとっても『社会参加と自己実現』には、沢山の『体験値を積み上げること』が、重要であると実感していただけた事業になったかと自負しております。

知的・発達障がい児（者）に特化した活動として4回を重ねました。体験が少ない当事者はもちろん、初めて参加したサポーターも、有意義な体験になったのではないかと思いました。

ハ【事業名】地域連携事業

【事業内容】 独立行政法人国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金の補助を受けて、『第4回みんなでワイワイさんあいイベント』事業を【豊中市・豊中市教育委員会の後援】で開催しました。服部西地区のふれあい縁地をお借りし、地域の方々と『あい・しりあい・わかりあい=みつつのあい』で、顔の見える関係性作りに寄与できればと、近隣の住民の皆さまや地域にある小中学校に広報をし、また10月1日には、市役所での広報活動に出かけるなど、子どもたちも準備段階から取り組みました。その中で初めての場所、初めての体験を通じ人と折り合いを付ける、ルールやマナーを守る、仲間との連携などの体験値を高めるための体験事業を行いました。また、保護者（ボランティア）も地域での活動に参加することで、様々な方と知り合い子どもの理解を深めるなど、小さな「意識変革」していくことをめざしています。

【実施場所】 豊中市服部西町 ふれあい縁地

【実施日時】 平成27年10月18日（日） 10時30分から16時

【事業の対象者】 子ども、大人合わせて 1,133名（サポーター、構成員含む）

【収益】 770,000円（補助金）

【費用】 998,923円

【活動報告】 『今年も、さんあいイベントありますか？』とのお問い合わせをいただき、4月の下旬から豊中市公園みどりの推進課に場所の確保をお願いし、また昨年出店してくださったお店の方からもいい形でご協力のお約束もいただき、事故無く無事に終えることができました。ボランティアの皆さんも昨年より増え、非常に助かりました。ただ皆さんに労いの言葉などをお掛けできなかつたことが反省点として残っています。

『とても楽しかったです。来年も来たいです。』その言葉で、何ヶ月も前から多くの関係する機関の皆さまとの調整などでしんどい思いをしたことが吹っ飛びくらい、力になりました。参加してくださった個々の皆さん（特に子ども達）にとっても『社会参加と自己実現』には、沢山の『体験値を積み上げることが、重要なのだ。』と実感していただけた事業になったと思います。来年度以降も子どもたちの為のイベントとして、回を重ね更に充実したものになるように頑張ります。

（3）障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業

ア【事業名】 居宅介護・重度訪問介護・同行援護事業

【事業内容】 主に知的・発達障がいのある方、子どもたちの身体、生活介護や通院時の付き添い、家事援助などの支援を行ないます。また、ご本人の力を引き出せるように、様々な場面でのお手伝い、自立に向けてのご支援をさせていただきます。寄り添うことを中心、保護者、ご本人様のニーズに合わせてサービス、将来の社会参加をめざしてのサービス、また保護者のレスパイトケア（一時休息）的役割も提供し、サービスを実施します。

※以下、移動支援事業に同じ

主事業と同時に地域介護人材就労促進事業（指導員・若年者）では、高度化される専門性、多様化するニーズへの対応など地域における人材育成と供給が益々重要になってきており、地域の特性を活かした介護人材育成に向けて、事業所内での研修計画や運営、また基本的な知識と技術を習得した指導員にふさわしい人材を育成し、介護福祉事業所に供給してまいります。働くうえで困難を抱える方々を福祉施設でのスタッフとして雇用し、OJT やグループワークなどの機会を通じて介護現場に必要なスキル、社会性を習得するという業務を受託し、事業展開しました。

【実施場所】 豊中市、大阪市淀川区など

【実施日時】 通年随時

【事業の対象者】 知的・発達障がいのある当事者など

【収益】 【費用】 下記（4）に、（3）（4）事業を合算し報告

【活動報告】 下記（4）に、（3）（4）事業を合わせて報告

イ 【事業名】 就労移行支援事業

【事業内容】 法人の掲げている「みんなにやさしい共生社会の実現」への思いとして、障がいがあっても社会参加は当たり前、地域で生きていくよう、また自己実現できるよう、主に知的・発達障がいのある方を対象に、『はたらく』ことを通じて社会の一員として『社会参加は当たり前』『自立した生活が営めるよう』2年間にわたり様々な活動と体験の機会を通して、就労に必要な知識の習得やスキルアップのための訓練等を適切・効果的に行ない、『はたらく』力を身につけ、就労の準備から就職活動・職場定着までサポートします。

【事業場所】 豊中市

【実施日時】 通年 1 年

【事業の対象者】 知的・発達障がいのある当事者など

【収益】 1,431,384 円

【費用】 12,431,731 円

【活動報告】 27年 11 月にやっと開所にこぎつけたものの、支援学校の進路選択は年々早くなってきており、(8月中におおよそ決まる)間に合わず、

次の学年の受け入れをめざして活動を開始するも叶いませんでした。そのために利用者の受入体制が整わず、その受入準備のため、又継続していく費用がかかったのでこのような結果になりました。反省を踏まえて、体制を整備し、引き続き「就労移行支援事業」に拘りつつも、今現在の利用者のニーズ、保護者のニーズまた社会情勢なども勘案しながら自信を持って『障がいがあっても社会に出てはたらける』ことを示していきたいと思っています。

（4）障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく地域生活支援事業

【事業名】 移動支援事業

【事業内容】 主に知的・発達障がいのある障がいのある方、子ども達の外

出の際の付き添い、移動の支援を行ないます。また本人の力を引き出せるよう、移動の際のお手伝い、余暇活動や自立に向けての支援をしていきます。保護者、ご本人それぞれのニーズに合わせた、余暇活動や将来の社会参加をめざしてのサービス、また保護者のレスパイトケア（一時休息）的な役割も提供できるように実施します。

【実施場所】 豊中市、箕面市など

【実施日時】 通年随時

【事業の対象者】 知的・発達障がいのある当事者など

【収益】 22,332,552 円【（3）ーアと（4）の合計】
(うち、（3）の介護給付費 7,264,953 円)

【費用】 19,480,554 円【（3）ーアと（4）の合計】

【活動報告】 （3ーア）、（4）いずれも知的・発達障がいの当事者に対して、将来の社会参加をめざすべく余暇支援や成功体験の積み重ねを図り、その先にある『働く』ことを常に意識し、居宅介護、重度訪問介護、同行援護並びに移動支援を行ないました。支援の中では、出来る限り前向きな姿勢で物事を捉え、『地域連携』を踏まえながら成功体験を重ね、利用者の方々が自らの行動に自信を持ち、暮らしに楽しみや充足感を持てるよう、意識をしました。

また第三者であるわたし達スタッフ（家族外）との『信頼して託していただける』関係性を構築することをめざしました。ひとつ、ひとつのかかわりを大切にし、その小さな積み重ねが自信になるだけでなく、将来にわたって繋がりまた拡がるものと思っています。

また、地域介護人材就労促進事業として、未就業者の雇用を通じ実際の現場などでスキルや社会性を身に付けて働くことに生きがいややりがいを実感できるような環境を整え、障がい者福祉に長い間、関わり続けてもらえる人材の育成に取り組みました。今後も法人のミッション『障がいがあっても社会参加は当たり前～みんなにやさしい共生社会の実現～』をめざして活動を続けてまいります。

（5）児童福祉法に規定する障害児通所支援事業を経営する事業

【事業名】 放課後等デイサービス事業

（マイ児童デイサービス、マイ児童デイサービスはっとり）

【事業内容】 主に、知的・発達障がいのある子どもたち（小学校1年生から18歳）に対して、しっかりとした個別支援計画に基づいて、一人ひとりの障がいと個性を見つめ、通所にてサービスの提供をしました。

マイ児童デイサービスが主に小学生の児童、マイ児童デイサービスはっとりが主に中学・高校の児童を対象に、それぞれの年齢や環境に応じた課題を掲げて、ニーズにあった支援を提供しています。

学齢期にある児童の発達を促し、社会生活を送るために必要な力を身につけ、将来働くということで自信に繋がるように、個別療育と集団の中で培うことの出来る週間プログラムによるグループ療育

の2面で支援を行ないます。

保護者はもとより、当事者にも分かりやすいご家庭でも取り組める様な『療育支援』のアドバイスなども行い、将来の自立（自律）へと促せるように寄り添う支援を心がけて事業を行っています。

【事業場所】 豊中市

【実施日時】 通年1年

【事業の対象者】 知的・発達障がいのある当事者など

【収益】	33,054,100円（そね）	31,933,985円（はっとり）
	計 64,988,085円	

【費用】	26,891,627円（そね）	22,598,589円（はっとり）
	計 49,490,216円	

マイ児童デイサービス（曾根事業所）

【活動報告】 1月から新しい体制で、事業の充実が図れたと思います。今年度もスタッフが入れ替わりや体制の変更はありましたが、無事に、平成27年度を終了する事ができました。昨年に続き地域の小学校に通う支援が必要な子どもたちが新たな仲間として加わり、ありがたいことに現在も問い合わせがあります。療育というところに特化し、『生活を基本とした生きるための療育支援』を踏まえて、新しいプログラムを取り入れた『更に一步踏み込んだ療育』へと進めていきました。

例えば毎週変わる『週間プログラム』に関しても『来所しているからには必ず参加』という事ではなく、スタッフ間でそれぞれの子どものことをしっかりと把握したうえで、現在は『個別支援計画』に基づき『子どもたちの特性』や『その日の体調や調子』などを配慮し、どの形で取り組むのかなど予めシミュレーションして、参加の仕方を考慮することで日々進化をしています。

様々な場面にて生活習慣の向上をめざした療育を行えるようになりました。これからも保護者のニーズをうかがいながら、子どもたちが『なりたい自分になる』という夢や希望が持てるよう、その期待を担うべく『ハニー・ビー』スタッフが一丸となって、個々の子どもたちに合った療育を提供していきます。

～本年度に実施した重点項目～

1. 個別支援計画書内容見直し

小学校低学年が多く在籍するそねの子どもたちのニーズ
：トイレや現実的に困難な内容を記載したものが多数あった。

：具体的には手先の巧緻性の向上やご家庭とも連携してのトイレトレーニングの計画などを盛り込んだ。

2. 「週間プログラム」の改善

：個別支援計画書に基づき、それぞれの子ども達の課題や動きを想定し改良を重ねながら実施へと変更。

：興味が有る無しに関わらず今まで気づかなかつた子どもの新たな一面や発見を得られた。

3. 子どもたちの体調管理に留意

：体調の良い日、悪い日も混在する中で、子ども達に対して何かの原因が発生し、泣いたり、また自傷行為、他傷行為に及ぶこともあった。その個々の状態をスタッフは注意深く見守り（観察）、また経過を見ていく中で原因になるものを出来るだけ軽減していけるようにした。

【利用者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	233	210	249	270	228	256	262	236	236	245	230	278	2,933
利用日数	24	23	23	25	22	24	25	23	22	22	23	23	279

月	週間プログラム（主な内容）
平成27年4月	体操「手足ぴったんこゲーム」クラフト「カレンダー作り」など
5月	クッキング「季節のおやつ作り」せいかつ「手を使ってみよう」など
6月	たいそう「リトミック型体操」数字の理解「7月のカレンダー作り」など
7月	体操「夏祭り準備①踊り」クラフト「夏祭り準備②にじぞめ」など
8月	クラフト「夏祭りの準備③飾り作り」「夏祭り」など
9月	せいかつ「おはしをつかってみよう」クッキング「お月見」など
10月	体操「上手にお箸を使おう」クラフト「秋の壁面制作」など
11月	特別課題「避難訓練」せいかつ「風邪予防、手洗いチェック」など
12月	合同「クリスマス会を開催」せいかつ「年賀状作り」など
平成28年1月	クッキング「おやつデコレーション」クラフト「鬼のお面作り」など
2月	体操「豆まき、鬼退治」クラフト「春の壁面制作」など
3月	クッキング「春のクッキング」体操「楽しい、リズムダンス」など

マイ児童デイサービスはっとり（服部事業所）

【活動報告】 知的・発達障がいのある中学生から高校生 3 年生（一部小学生を含む）を対象とした障がい児通所支援事業を行ないました。

個々に対応した個別支援計画を作成し、その個別支援計画に基づき、グループでする療育と個別にする療育（自立課題）について、毎日のプログラムと週間プログラムを作成しました。

1. 毎日のプログラムは、個別支援計画に基づきグループ別と個別の二通りの支援方法で作成した。
2. 週間プログラムは、週ごとに、挨拶・お金の理解・クッキング・クラフト・体を動かすなどの項目を、その季節にあった内

容で作成し療育支援した。

3. 土曜日デイのプログラムを4月から変更
第1週目 プレ就労 電車でLet's go (切符を買って電車に乗ろう)
第2週目 就労プログラム (選抜メンバー)
第3週目 プレ就労 調理を作つてマナーを身に付けよう
4. 就労プログラム (選抜メンバー) は、挨拶や作業終了の報告また作業中の態度、自己紹介の仕方など実際の事業所にでの実習作業を実施した。
目的 : 挨拶、コミュニケーション (報告・連絡・相談木ウレンソウの実施)
: 一生懸命さ・集中力・根気強さ・労働に耐えられる体力づくり
重点目標 : 働く意識の向上をめざす。働く上で大切なことを学ぶ

ぶ

基本的な活動 : チェック表の項目をクリアする(保護者にも意識を促す)

- : 自分の名前、住所、保護者の名前、生年月日が言える、書ける
- : 挨拶をする (時節に合つた挨拶等)
- : 自己紹介をする
- : 掃除をする (要所を伝えてしっかりと取り組む)

毎月のプログラム内容

4月 実際の職場を見学してみよう

6種類の作業チェック①

5月 身近な実際の職場 (介護事業所、公共施設など) で働いてみよう

介護事業所 : 菜の花デイサービス

公共施設 : 豊中市スポーツ振興事業団の指定管理するマリンフード豊中スイミングスタジアム

6月 身近な実際の職場 (介護事業所、公共施設など) で働いてみよう

介護事業所 : 菜の花デイサービス

公共施設 : 豊中市スポーツ振興事業団の指定管理するマリンフード豊中スイミングスタジアム

7月 人のためにお仕事をしよう

宿泊体験のための旗の制作や準備、個数の確認など
JR西日本あいのりでの職場実習 女子・1名・5日間

8月 職場実習

NPO法人ボンクール (就労継続B型) 女子・3名・3日間

コープこうべ豊中店 女子・1名・3日間

9月 7月、8月の職場実習の振り返りなど

さんあいイベント内容 : 企画、前準備、

10月 さんあいイベント前日準備と当日の活動
当日の子ども店長、販売実習など

11月 身近な実際の職場 (介護事業所、公共施設など) で働いてみよう

介護事業所 : 菜の花デイサービス

公共施設：豊中市スポーツ振興事業団の指定管理する
マリンフード豊中スイミングスタジアム

12月 クリスマスカード作成

ねらい：人のために、仕事をすることの喜びを感じる
やり遂げることで達成感を得ることで自身に繋げる

1月 6種類の作業チェック②

2月の昼食作りのための話し合い

ねらい：2つのグループに分かれて昼食の献立をみんなで考えて、実際に買い物に行き（@300円×人数分）、料理をしてみんなで楽しく食べ、片付けもする。

計画性、協調性を養おう

2月 昼食作り（クリームシチューと五目やきそばなど）

ねらい：計画を立て、考えた献立を実際に作って、食べよう。

協調性を養おう

3月 自己紹介・発表『今年度のまとめ』

6種類の作業チェック③

ねらい：保護者、人前でも自分の意見が言える

各月1回の就労プログラムですが、参加したメンバーは大きく成長できました。

5. 年間行事

1) 春のミニ運動会 27年5月

豊島公園で デイサービス（そね・はっとり）合同

【感想から】

晴天下、少し勝ち負けにもこだわって、元気に身体を動かしました。

2) サツマイモの苗植え 27年5月

豊中市スポーツ振興事業団主催に参加

3) 交流会実施 1回実施 27年11月

豊中保健所 松岡 太郎所長 ご講演

デイサービス・アプリコット・相談・豊中保健所合同

4) 夏祭りを各事業所で開催 27年8月

【感想から】

今年も、そね・はっとりの利用者とそれぞれの事業所で夏祭りを楽しみました。スタッフがそれぞれに工夫を凝らして、ゲームコーナーや飾りつけ、食べ物コーナーも充実。デイのプログラムで作成した作品を展示して雰囲気を盛り上げました。

5) サツマイモの収穫【豊中市スポーツ振興事業団主催】 27年10月

【感想から】

「ここに大きいのがあるで」とスコップを使って、最後には軍手ももどかしかったようで、素手で掘り起こしていました。自分で掘り出したお芋に関しては、すごい感動だったようで、とても誇らしげに眺めていました。残念ながら掘り起こしたお芋は持ち帰ることはできなかったようですが、おやつで調理して食べることができ、『食育』食

べ物に興味を持つ事が出来ました。

6) クリスマス会

27年12月

福祉会館でそね・はっとり合同開催。昨年度の反省も踏まえつつ、スタッフ家族のボランティアのご協力もあり、またオリジナルケーキ作りやサンタの登場で大盛り上がりのプログラムに子どもたちは大喜び！！

【利用者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	231	215	236	243	183	231	239	241	229	233	240	274	2,795
利用日数	24	23	23	25	22	24	25	23	22	22	23	23	279

（6）障がい者の自立と就労参加を実現するための仕事づくり支援事業

【事業名】 サービス業での障がい者就労・職域開発事業

【事業内容】 毎日コンスタントに障がい者が6時間働き続けられる環境づくり、仕事づくり、その他関連する管理業務などを推進し、障がいのある方々に出来るお仕事を探求していきます。

障がいのある人たちは働けないのではなく、『体験値が少ない。』『どうせ、出来ない。』との周囲の偏見から働くことを諦めてしまうことがあります。

しかしながら実際に支援を受けながらも働くことで、意識が変わる場合も多々経験してきました。そのような、働き方、また働く方法を広く知ってもらうという意味においてもサービス業での障がい者就労・職域開発事業推進の役割をしっかりと果たしてまいります。
※マイ児童デイサービス、マイ児童デイサービスはっとりいすれにも充当

障がい者の地域生活と就労を促進し、自立支援の観点から就労支援の充実を図ります。主にサービス業(食品販売、介護業務等)分野での職域拡大を促進すると同時に、支援員も新規雇用し、障がい者が継続的かつ安心して働き続けられるための環境の整備及び既存事業の拡大、更には新事業の開発を促進していきます。

【実施場所】 豊中市服部豊町1丁目など

【実施日時】 平成27年4月～平成27年8月

【事業の対象者】 知的・発達障がい者の雇用者5名、指導員(退職者含む)7名

【収益】 13,796,448 円（うち豊中市業務委託 10,072,938 円
商品等販売 3,723,510 円含む）

【費用】 10,543,586 円（うち売上原価 2,461,969 円含む）

【活動報告】 『障がいがあっても社会参加は当たり前～支援があれば働ける～』のハニー・ビーの理念の下、障がい者が継続的に働き続けられる事業所を開設し、障がい者及び障がい者を支える方々を新規採用し、一人ひとりに見合った育成をし、地域での物品販売や清掃業務などを担ってきました。本事業を通じ、就労の場づくりに必要な他団体や地域との協力体制の構築を促進し、収支バランスの調査を行い、27年度の就労移行支援事業所を創業するための土台作りに繋がったのではないかと思っています。

※サービス業での障がい者就労・職域開発事業の委託事業としてマイ児童デイサービス、マイ児童デイサービスはっとりいすれにも充当
障がい者の地域生活と就労を促進し自立支援の観点から、就労支援の充実を図る障害福祉サービス等事業所などは、施設で働く支援人材の不足に悩んでいます。こうした状況の解消を図るべく、福祉分野で志望する人材を新規雇用し、施設などのOJTと必要な資格取得などを通じて、支援人材を育成し雇用の促進・人材確保に繋げるという業務を受託し、事業展開しました。

- (7) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく一般相談支援事業
- (8) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく特定相談支援事業
- (9) 児童福祉法に規定する障害児相談支援事業

【事業名】相談支援センター ハニー・ビー

【事業内容】 主に知的・発達障がいのある方を対象に、利用者の意思及び人格を尊重して、子ども達の将来に関わる相談に応じ、常に利用者の立場に立った適切な計画を立てていきます。ご本人やご家族と共に相談をしながらどのような暮らしがしたいのか、そのためにはどの様なサービスが必要か、福祉・医療・教育・仕事・住まいなどの総合的な視点から一人ひとりにあった計画を作成します。障がいのある人が自立した日常生活・社会生活を送るために共に考え、支援をしていきます。

【実施場所】 豊中市、箕面市、吹田市、大阪市淀川区

【実施日時】 通年随時

【事業の対象者】 障がい児・障がい者・ご家族等

【収益】 7,755,328 円

【費用】 2,352,456 円

【活動報告】 障がいのある方々、特に障がい児に特化したサービスの提供を大切にしています。主に知的・発達障がいのある方、子ども達の将来に関わる相談に関しては、利用者の意思及び人格を尊重して、常に利用者の立場に立った適切な計画を相談しながら立てていきました。時間はかかりますが、将来を見据えて、ご本人やご家族と共に相談をしながらどのような暮らしがしたい

のかが少しずつ見えてきました。

(10) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

【事業名】 自立と就労参加を実現するための情報発信事業

【事業内容】 各市内などで『障がい者の自立・就労の意義』を主旨とし普及するためのネットワークを構築するべく、啓発・広報活動を実施します。

【実施場所】 大阪市内、豊中市内

【実施日時】 通年随時

【事業の対象者】

【収益】 0円

【費用】 0円

【活動報告】 大阪NPOセンターさんなどからのご支援をはじめ様々なネットワークを構築する足がかりとなる一年であったと思います。

来年度に向けて、理事長だけでなく理事、スタッフなど様々な人材がハニー・ビーの代表者となりミツバチのように色々なところへと媒介していくことが出来る準備が整ったと思っています。

【事業名】 通信発行事業

【事業内容】 ハニー・ビーの活動報告や情報を盛り込んだ『ハニー・ビー通信』を定期的に発行することにより、さらなる啓発・広報活動を実施します。

【実施場所】 支援学校、豊中市立小学校、中学校、行政機関など

【実施日時】 通年毎月

【事業の対象者】 知的障がいのある当事者と保護者、企業、教育、行政機関、市民など

【収益】 0円

【費用】 0円

【活動報告】 今年度は、ハニー・ビー通信第79号から91号まで発行しました。沢山の方々と出逢い、お話をさせていただく事で、ハニー・ビーの活動に興味を持っていただけたと自負しております。その中で、お顔をあわせる機会は少なくとも月1度、お送りさせていただく事によって『頑張っているのだな。』『逆に元気をもらった。』とのご感想をいただき、嬉しい限りです。これからも継続は力なり、一生懸命皆さんとのご縁を感じながら、繋げて行きたいと思います。

IV 社員総会の開催状況

第6回通常総会

(日 時) 平成27年6月18日(木) 19時から20時

(場 所) 豊中市曾根西町三丁目7-35 クレアコート曾根1F

(社員総数) 15名

(出席者数) 12名(うち委任状出席者6名)

(内 容) 第1号議案 事業報告承認の件

審議の結果、全員一致で可決承認
第2号議案 決算及び監査結果承認の件
審議の結果、全員一致で可決承認
第3号議案 監事選任承認の件
審議の結果、全員一致で可決承認
報告事項
平成27年度事業計画並びに予算について報告があつた。

V 理事会その他の役員会の開催状況

第1回理事会	開催日 平成27年4月23日（木） 理事 5名
決議事項	なし
内 容	今年度の事業報告並びに計画の報告、予算の確認
第2回理事会	開催日 平成27年5月28日（木） 理事 4名
決議事項	26年度の事業報告の承認及び決算書類の承認
内 容	総会資料確認及び承認。総会に向けての行事報告、今後の予定の確認
第3回理事会	開催日 平成27年6月18日（木） 総会前
決議事項	場所：曾根事業所 理事5名
内 容	新規事業 就労移行支援事業の実施について
第4回理事会	開催日 平成27年7月16日（木） 理事 4名
決議事項	新規事業就労移行支援事業所の開設
内 容	嘱託税理士の変更について
第5回理事会	開催日 平成27年9月24日（木） 理事 4名
決議事項	NPO主催行事の活動予定と報告
内 容	長期借入金借入れに関する件
第6回理事会	開催日 平成27年10月15日（木） 理事 4名
決議事項	最低賃金引き上げに伴う給与調整について
内 容	事務局次長の採用について、NPO主催行事報告など
第7回理事会	開催日 平成27年11月19日（木） 理事 4名
決議事項	就労移行支援事業所お披露目会の開催について
内 容	第4回さんあいイベント開催の準備と当日の体制について
第8回理事会	開催日 平成28年1月21日（木） 理事 4名
決議事項	12月賞与の支給について
内 容	放課後等ディサービスそね 管理者懲戒処分について
	来年度のゆめ基金の申請について2件。
	来年度の組織体制について
第9回理事会	開催日 平成28年2月25日（木） 理事 4名
決議事項	なし
内 容	来年度の各事業所の体制の確認、経営状況など経営状況など
	意見要望等計画と予算立案の準備の承認
第10回理事会	開催日 平成28年3月17日（木） 理事 4名
決議事項	なし
内 容	来年度の計画の具体案、目標 研修の体制など

決議事項 来年度の事業計画と予算の承認

3月賞与の支給について

内 容 2月度の経営状況と決算予測、新規事業の見通し

理事会は、注釈無しの場合は下記の場所にて開催。

開催場所：豊中市服部豊町1丁目 はっとり事務局

平成27年10月からは 事務局移転のため

開催場所：豊中市本町6丁目8-1金岡ビル2F 本町事務局